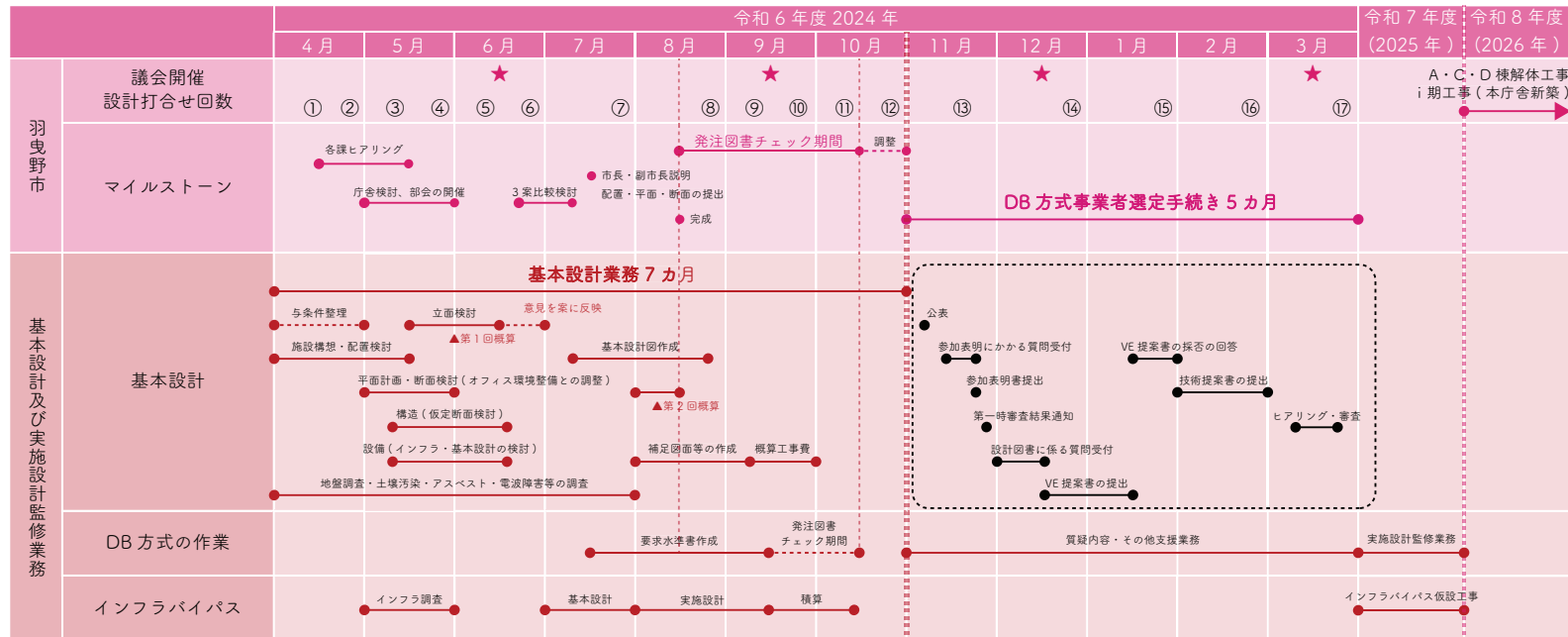
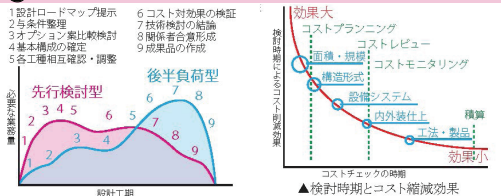


【テーマ別業務提案】テーマ3：実施設計・施工一括発注方式を踏まえた基本設計段階の工程・コストコントロール方策について

DB 方式を活かした早期検討型の工程管理

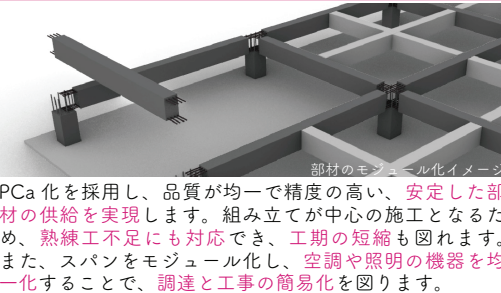


3 フロントローディングによる早期のコスト管理



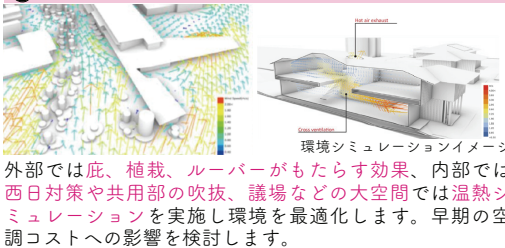
達成すべき品質・経済性をターゲットしながら詳細に落とし込み、積算時での目標予算達成につなげます。基本設計段階では早期のコスト管理をすることは勿論、概算チェックを2回実施します。また、市場価格の変動の大きな工種については、早期の段階で業者見積を行い、概算金額と乖離がないか確認します。

4 PCa 化による施工の高品質・高効率化

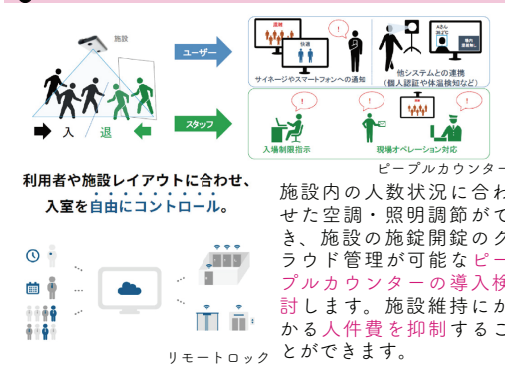


PCa 化を採用し、品質が均一で精度の高い、安定した部材の供給を実現します。組み立てが中心の施工となるため、熟練工不足にも対応でき、工期の短縮も図れます。また、スパンをモジュール化し、空調や照明の機器を均一化することで、調達と工事の簡易化を図ります。

5 建物特性に応じた省エネの検討



6 スマート管理の導入検討



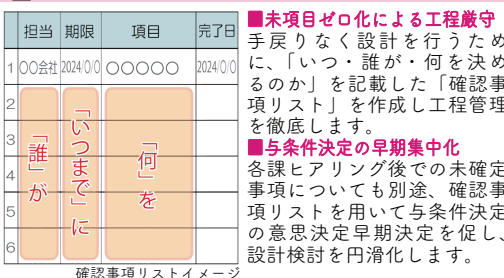
7 LCC を 30% 低減



1 DB を踏まえた基本設計工程

■業務開始 3 ヶ月の集中検討期間
業務開始早期にプロジェクトの方向性を定めるために高い頻度でヒアリングによる与条件整理、それに基づいた設計検討を集中的に行います。
■基本設計図の早期作成
基本方針が決まった後は、市長・副市長説明でのフィードバックを設計案に速やかに反映し、基本設計図の作成を行います。早期の作成によりターゲットコストに向けたコスト管理の容易化が可能です。
■事業者選定のための支援業務
補足図面、質疑回答等、事業者選定が円滑に進むように早期の対応を行います。

2 基本設計を 7 ヶ月でまとめる手法



8 大阪・関西万博再生木材活用によるコスト低減



9 補助金活用に向けた支援業務

